「今」を生きる子どもたちと、
かつて子どもだった
大人たちを
つなぐ情報誌。

こども Channel

チャンネル

みる　きく
あそぶ　かんがえる

2016
56号

発行：認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター　URL：http://childnpo.com

特集 子どものチ・カ・ラ８

特集 【うめだ演劇工房】
演劇キッズ
お芝居
「ぼくらのみらい」

こどもChannel 2016 56号

2016年5月1日発行（年3回発行）　通巻第56号

Take Free【無料】

インフォーメーション・クリップ
子どもNPOセンター Information Clip

子どもと文化の 素敵な出会いをプロデュース!!

たとえば、「学校で子どもたちに芸術鑑賞を・・・」「イベントで楽しい遊びを・・・」「親子の集いやPTA行事に何か・・・」さまざまなニーズに応じた企画を紹介しています。お気軽にお問い合わせください。

日程と希望作品の調整のため、半年前にはご連絡ください。

これまでの実績	●鯖江市小学校公演紹介 ●小浜市小学校公演紹介 ●福井市公民館イベント紹介 ●福井市小学校親子の集い企画紹介 などなど。

レンタルします!

最新作の**「カウボーイ輪投げ」**大人気の**「スマートボール」「ストラックアウト」**など手作りあそび用品を多数とりそろえています。子ども会のイベントや地域のお祭りに使ってみませんか。レンタルの予約はお早めにどうぞ!

予告
平成28年度
「通常総会」

今年度も子どもたちの未来を創る市民の“仕事”を子どもNPOセンターから発信します!
◎日時：6月5日（日）10時～12時　◎会場：福井市総合ボランティアセンター研修室（ハピリン4階）

認定NPO法人 福井県子どもNPOセンターにご支援ください。

子どもNPOセンターは、国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。

A. 賛助会員 子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動を支援する会員。	●個人 ●団体（法人）	一口年額／ 5,000円 一口年額／10,000円
B. ボランタリー会員 子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力・参加する個人。	●個人	一口年額／ 1,000円
C.一般寄付も受け付けています。		

入会方法

郵便振替の通信欄に、
❶住所 ❷氏名 ❸電話番号
❹会員の種類（左記ABCいづれか）
❺口数 を記入してお振込みください。

郵便振替
00770-1-45546
福井県子どもNPOセンター

◎税制上の優遇措置について

「認定特定非営利活動法人」へのご寄附や、正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます。ぜひご利用ください。

❶個人のご寄附

【所得税】（寄附金の合計額 ー2,000円）×40%が税額控除されます。［上限：所得税額の25%］
【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。
【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄附した場合、寄附をした財産には相続税が課税されません。

❷法人のご寄附〈法人税〉

認定特定非営利活動法人への寄附金の特別損金算入限度額が改正されました。（2012/4/1）
{（資本金×（当期の月数÷12）×0.375%）＋（所得の金額×6.25%）}

※詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせ下さい。また、国税庁のウェブサイト（国税庁＞申告・納税手続＞認定NPO法人制度）でも手続きの詳細が掲載されています。

団体正会員

鯖江子ども劇場	〒916-0024 鯖江市長泉寺町1-9-20 鯖江市民活動交流センター内
小浜子ども劇場	〒917-0231 小浜市国分50-9 TEL.0770-56-2867
勝山子ども劇場	〒911-0811 勝山市片瀬町1-402 勝山市民活動センター内 TEL.0779-87-1011　FAX.0779-87-1022
NPO法人 福井芸術・文化フォーラム	〒910-0019 福井市春山2-7-1（福井市文化会館内） TEL.0776-23-6905　FAX.0776-23-7905

福井県子どもNPOセンターを支援しています。

- 有限会社アドヴァンス近信
- 大久保リースホームビル株式会社
- 太田木材株式会社
- 大月産婦人科クリニック
- 片山整形外科
- 上屋敷工業株式会社
- 医療法人矯正歯科誠クリニック
- 学校法人 福井仁愛学園
- スクエアパーク
- 造家屋
- つちだ小児科
- ネッツトヨタ福井株式会社
- バルーンギフト館
- 光タクシー有限会社
- 広瀬病院
- 福井県映画センター
- まきレディースクリニック
- ミエリ デザイン
- 三井皮膚科医院
- 山内整形外科
- 有限会社山下燃料
- りつこ山野流着装教室
- 六感デザイン

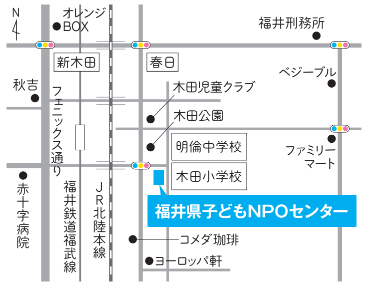
Channel★ジャミ×2
～編集後記～

昨年度、微力ながら関わらせていただいた「演劇キッズ」の発表会を3月に終え、キッズ達と別れてから1カ月が過ぎようとしていますが、土曜日が来る度にまたキッズ達に会いたくなり、なかなか気持ちが前に向きません…。演劇キッズロス!?きっと子ども達の方が切り替えが上手で、それぞれの場所で新しい生活を楽しんでいるでしょうね…。よし、私もそろそろ前に進もう。（おっしー）

記事、情報に関するお問い合わせは福井県子どもNPOセンターまで

認定NPO法人
福井県子どもNPOセンター
〒918-8106 福井市木田町36-1コーポ木田201号
TEL.0776-97-8460　FAX.0776-97-8461
E-mail childnpo@muse.ocn.ne.jp
URL http://childnpo.com
始めました

企画・編集／福井県子どもNPOセンター　デザイン／六感デザイン



うめだ演劇工房

演劇キッズ

ぼくらのみらい
作：梅田美千代

■発表：3月27日（日）　■会場：響のホール
■練習：7月～3月（28回）
■講師：梅田美千代氏
■観客：153名

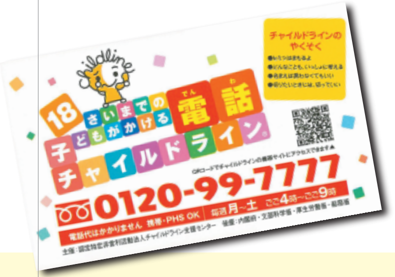
客席後方の扉が開かれ6年生男子の一声で「ぼくらのみらい」が開演しました。7月から始まった演劇キッズには、福井市内外から19名の小学生が参加しました。「劇をやってみたい」「女優になりたい」「ステージに立ってみたい」それぞれ参加動機は違いましたが、響のホールの舞台に立った瞬間、みんなの気持ちがひとつになり、堂々とした演技を見せてくれました。カーテンコール後、舞台を降りる19名の誇らしげな表情が印象的でした。

「演劇の力、キッズの力」

講師：梅田美千代氏

劇を作ることを目標に集まった19名のキッズは、劇作りの練習を通して大切なみっつの力を学びました。役やストーリーについて考えるための「考える力」、共演者と心を通わせたり協力するための「つながる力」、演じるための「伝える力」。そして19名の力を合わせ、響ホールで「ぼくらのみらい」を発表するという大きな目標を達成することができました。同時に、みっつの力はキッズを人としても大きく育ててくれました。限りない可能性と力を持ったキッズが「考える力」「つながる力」「伝える力」を糧に、さらに大きく育ってくれるものと信じています。

ふくい チャイルドライン


チャイルドラインのやくそく
18さいまでの子どもがかける電話
チャイルドライン
0120-99-7777
毎週月～土 ごご4時～ごご9時
電話代はかかりません 携帯・PHS OK

「フリーダイヤルキャンペーン」

協力：富士通株式会社

報告

■とき：3月5日（土）10時～16時
■会場：エルパ西口スペース
■募金総額：45,219円

「受け手ボランティア養成研修」

報告

■とき：3月13日（日）10時～16時
■会場：福井県社会福祉センター
■参加：22名（受け手登録17名）

フリーダイヤルで開設しているチャイルドラインを多くの人々に知ってもらう目的で、富士通さんの協力のもと「子ども縁日広場」を設け募金とカードを配布しました。又、子どもの声を聴くボランティアの受け手養成講座を開催しました。講義では、電話で会話する関わりが子ども達にもたらすもの、伝える手法、チャイルドラインの理念を学びました。大人がいろんな形で子どもと関わることに気づいてもらえると嬉しいです。

（谷内由美子）

奥越ラインの受け手募集のため大野市で**受け手ボランティア研修会**を開催します

開催日	時間	内容	会場
6/19（日）	10:00～12:30	講演会「子どもに学ぶ、子どもに伝える」 上級カウンセラー 川村信治氏	多田記念大野有終会館（307～309号室）
	13:30～14:00	ガイダンス「チャイルドラインとは」 チャイルドライン室長 谷内由美子	
	14:00～16:00	ロールプレイ「聴く力は愛する力」 教育カウンセラー 向井清和氏	

◎研修費／3,000円　定員30名　※詳しくはお問合せください。

18才までの子ども専用電話
月曜日～土曜日 16:00～21:00
☎0120-99-7777

福井県まごころ基金助成事業

大人が学びあう講座

報告

子どもの貧困を考える

10月から4回シリーズで始まったこの講座は、回を重ねるごとに人が人を呼び「子どもの貧困」に対する皆さんの関心の深さが伺えました。それぞれの講師の話は具体的で、漠然とした貧困を瞭然とするものでした。参加者が学び感じそして考えたことが地域で形になることを期待しています。子どもの育ちは私たち大人の責任です。子どもNPOセンターは28年度も大人にむけて講座を開催します。

■講師：徳丸 ゆき子氏（大阪子どもの貧困アクショングループ代表）
■とき：1月17日（日）14時～16時
■会場：地域交流プラザ　■参加：52名

「暴力の数字を読む、声を聴く」
■講師：内田 良氏（名古屋大学教育学部准教授）
■とき：2月20日（土）14時～16時　■会場：県民活動センター　■参加：45名

徳丸さんの「あたたかい経験をした人はSOSが出せる大人になる」という言葉は、逆にいうと人の温かさを感じたことが無い子どもは人を信じることができないのでSOSの出せない大人になってしまう、ということです。SOSが出せない人は公的な補助や民間のサポート団体に頼ることができず重荷を1人で抱え込むしかありません。子どもたちがこういう負の連鎖に陥る前に私たちに何ができるかを考えさせられました。（齋藤万世）

空とぶじゅうたん マタニティカフェ

赤い羽根共同募金助成事業　　協力／太田木材株式会社

同じ世代や社会でサポートしていく「子育て」のカタチは、マタニティからスタートしているという思いで、この事業への取り組みに力を入れてきました。子どもの誕生と成長のなかで親の心や体調も揺れ動きます。マタニティカフェや講演会などで事前に対応策を知り、心の準備ができた参加者の表情からはゆとりを感じました。また、子育てをともに補いあえる関係が回を追うごとに育まれていったことを実感しています。（佐藤慶子）

報告

「Drママのおうちケア」編

■とき：11月26日（木）10時～12時
■会場：太田木材株式会社　■参加：10名
■講師：小児科医 小俣合歓子氏

報告

「枝元なほみとマタニティカフェ ～つくるたのしみ たべるたのしみ～」

■とき：3月28日（月）13時半～15時
■会場：国際交流会館 多目的ホール
■参加：50名
■講師：料理研究家 枝元なほみ氏

参加者の感想

「これ食べて」というのは「この分生きてね」というサイン。（中略）これからも家族の為においしいごはんをたいて真心の料理を肩をぬいてつくりたいと思います。

自然を楽しむ指導員研修

森林・山村多面的機能発揮対策交付金

報告

■と　き：2月28日（金）9時半～12時
■ところ：ふくい健康の森
■講　師：大石橋節子氏　■参加：10名

放課後児童クラブの指導員を対象に自然体験会を行いました。雪に恵まれ、山の斜面をザイルを使って登ったり、童心に帰ってソリあそびなどをしました。自然の中で遊ぶ楽しさを、今の子どもたちにも味わってほしい、各クラブの活動でも自然体験を取り入れたいという感想がありました。